

1回(昭2年卒)~
23回(昭24年卒)
卒業生2,835名

1回(明43年卒)~
39回(昭24年卒)
卒業生3,327名

1回(昭23年卒)~
65回(平25年卒)
卒業生28,708名



双鶴同窓会報
発行〒624-0841
京都府舞鶴市引土145
京都府立西舞鶴高等学校

双鶴同窓会
☎(0773)75-3131

編集 松田 潔
責任者 田中 昭
印刷 オガワ印刷



▲舞鶴港に初入港したサンプリンセス(西港第2ふ頭)▼



戦後13年間にわたり
約66万人の引揚者と
約1万6千柱の遺骨を
受け入れた。
(平引揚棧橋)



1 京都縦貫道及び舞鶴若狭自動車道の全線
開通を目指して

2年後の平成27年春に京都縦貫自動車道及び舞鶴若狭自動車道が全線開通し、京阪神はもとより、中京圏との環状リンクの交通網が整います。観光や物流など「人と物」の動きがよりスムーズで活発になります。また、大型クルーズ客船の寄港が増加し、海からの観光客も増加の一途であります。これらが契機となり、着地型観光を中心とした交流人口の増加やまちの発展へのきっかけとなること、大いに期待されています。

2 クルーズ客船の京都舞鶴港入港

本年5月には、大型豪華客船「サン・プリンセス」(7万7千トン、同2005名)が初寄港しました。また、7月にも同船の寄港が予定されているほか6月・9月には「コスタ・ヴェクトリア」(76千トン、同1,928名)が初寄港します。さらに、7月31日から8月2日には、舞鶴港発着の「はっけいひびいなす」(2万60549トン、同620名)の臨岐の島クルーズが実施されます。

3 引揚記念館資料のユネスコ世界記憶遺産
登録への取組

舞鶴市は戦後13年間にわたり、大陸、シベリヤからの引揚者を温かく迎え入れました。戦後の混乱の中、舞鶴市民は自らの苦しい生活を顧みず、引揚者の出迎えに湯茶接待や慰問にとり組みが行われました。引き揚げられた方々の新たな出発の地となったのがこの「舞鶴」であります。このような引き揚げの史実を風化させることなく後世に語り継ぎ、平和の尊さを発信することが、今の私達に課せられた使命であると考えています。

そのことから舞鶴市では、引揚記念館所蔵品を貴重な歴史資産として平成26年3月の「ユネスコ世界記憶遺産」への登録申請に向けて、取り組みを進められています。引き揚げの史実と先人の思いやりの「精神」を舞鶴市民として後世に引き継ぎ、世界に発信していきたいと考えています。

「舞鶴引揚記念館資料ユネスコ世界記憶遺産登録を応援する会」が自治連・区長連絡協議会や舞鶴市老人クラブ連合会、NPO引揚語りの会、舞鶴ユネスコ協会、NPOガバナンス舞鶴を発起人として本年3月に発足し、現在、署名活動を展開しています。舞鶴に縁のある多くの皆さんのお力添えをお願いいたします。

(お問い合わせは、舞鶴引揚記念館 ☎0773-168-0000)

ご挨拶

歴史と伝統を踏まえ 母校も舞鶴も 前途洋々

双鶴同窓会会長 南 房夫



本年の5月27日に舞鶴市は市制70周年を迎えました。

細川藤孝が織田信長から丹後国を賜ったのが天正8年(一五八〇年)のことで丹後支配の根城を宮津に築城しました。天正10年6月2日に明智光秀が織田信長を討つ本能寺の変が起り、光秀の誘いに応じず剃髪し幽斎玄旨と号し、息子忠興に代を譲り隠居し田辺城に移りました。

時、ご存じ田辺城籠城となりま

す。古今伝授のお話です。幽斎さんは慶長15年8月21日77歳で没し四七九年になりました。その後京極家3代、牧野家10代を経て江戸幕府が倒壊し、明治新政府のもと廃城となりました。

昭和13年8月1日城下町と商港の西地区の舞鶴市と、軍港を有する東舞鶴市が同時に誕生しました。緊迫化する国際情勢を踏まえ、大正12年に閉庁した舞鶴鎮守府が昭和14年に復活し軍事施設が拡充される中、昭和16年12月8日太平洋戦争が勃発し、国防が最優先され西港の施設も軍用化されて、舞鶴鎮守府

の強い要請もあり昭和18年に両市が合併し、市制70周年を迎えました。

明治34年に舞鶴鎮守府が開庁して初代長官、東郷平八郎中将が赴任されてより一三三年、大正2年に大森海岸築港されてより一〇〇年、今一海の京都一国際港、京都舞鶴港として大きく世界に門戸を広げ、本年は超大型クルーズ船の来港が目白押しです。

平成2年、竹下内閣の「ふるさと創成資金1億円」で田辺城門が建設されました。これを機に翌年、田辺城籠城と古今伝授をテーマに「舞鶴細川幽斎田辺城まつり」を実施し、5月の最終土日に西地区の祭りとして継承し22年続いています。舞鶴の近世の基礎を築いた幽斎さんと東郷さんの二人は大きな足跡を残してくれました。舞鶴の大きな遺産であります。

平成26年度には京都縦貫自動車道が開通します。これを「ガラシャロード」と名付け、細川幽斎、細川忠興、細川ガラシャ、明智光秀をNHKの大河ドラマにと関連する、京丹後市、宮津市、舞鶴市、綾部市、福知山市、亀岡市、長岡京市と大山崎町の7市1町NHK大河ドラマ誘致推進協議会を立ち上げ、京都府全体の観光振興と地域経済の活性化を目指しています。舞鶴でも市民の賛同署名が始まりました。

本校はその前身、加佐郡立高等女学校創立より一〇六年、京都府立舞鶴中学校創立より91年、戦後の学制改革を経て昭和23年10月に京都府立西舞鶴高等学校となり舞女、舞中が併合されてより65年になります。2年前から公立高校の通学区域も中丹教育局管内は自由となり、学力・能力に合った学校をその特色によって選択できるようになりました。

一方課外活動においては、部活動に、生徒会活動に、ボランティア活動に様々な機会をとらえて頑張っています。昨年度、全日制ではソフトテニス、体操、将棋部が全国大会に出場し、他の部ではバドミントン、柔道、水泳部が近畿大会に出場しました。また、吹奏楽部は八十名の大所帯となり府大会において銀賞を獲得しました。通信制では、卓球部が全国大会に出場しました。これら多くの部の活躍に刺激され、後輩達も先輩に負けない成果を目指して、奮闘しているところです。

ごあいさつ



向署の候、双鶴同窓会の皆様方におかれましては、ますます御健勝にて御活躍のことと心からお喜び申し上げます。また、日頃から本校の教育活動に對しまして、温かい御理解と御支援を賜り厚くお礼申し上げます。本年度は管理職の人事異動はございませんでした。昨年度に続きまして西舞鶴高校には皆様方の思い

校長 福井秀之

出の建物が、今も多く残っています。一番歴史がありますのが旧制中学校から続く格技場、続いて昭和二十五年(新制二回卒業の年)建設の木造の体育館、本館が昭和三十六年(新制十三回卒業)その後校舎も増築され、新しい体育館が昭和四十一年(新制十八回卒業)の建設でございます。鉄筋の校舎や体育館が建ったのは、京都府北部では西高が最初だったそうです。その分、校舎もだいぶ古くなりまし

たので、本年から2年間をかけた本館と生徒の学んでいます校舎につきましては、耐震工事をすることとなりました。2年後にはリニューアルをされ、学習環境も改善されるものと思っております。

現在、全日制は、普通科六クラス、理数探究科一クラスの一年生計七クラス、全校二十一クラスの生徒数八百三十名を数える学校規模となり、府北部の中学校としてますますその存在感を大きくしています。また、通信制では、二百名を越える生徒が在籍し、自学自習という学習形態の中で、仕事や家庭との両立を図りながら高校卒業の資格取得を目指しています。

政治・経済や景気状況につきましては不透明な状況が続き、今年度の高校生の雇用状況

も昨年に続き厳しい状況でしたが、皆様方のおかげをもちまして就職希望者は全員が決定しました。また、進学につきましては、希望進路の実現に向けて、最後まで粘り強く取り組むことができました。私たち教職員一同、同窓会の皆様を始め、地域の皆様のお力もお借りしながら、全日制と通信制課程それぞれが、地域社会の期待に応える学校となるよう努めてまいりたいと考えています。

結びにあたりまして、双鶴同窓会のみならずの御発展と会員の皆様方の御健勝・御多幸をお祈り申し上げます。





平成二十四年度評議員会が六月九日に、舞鶴グランドホテルで開催されました。会員約百三十七名が参加し、事業報告・会計報告・監査報告が行われました。
評議員会後に、多々見良三舞鶴市長の記念講演が行われました。

平成二十四年度
総会開催



双鶴同窓会各支部役員

【東京支部】

支部長 山口 文明 (昭36定)
事務局長 澤田 謙二 (昭48高)
「事務局」 〒160-0011
東京都新宿区若葉3-4 (澤田)
TEL/FAX 03-3353-7165 (自)

【京都支部】

支部長 小田 彬人 (昭27高)
事務局長 宗方 嘉浩 (昭28高)
「事務局」 〒611-0022
京都府宇治市白川鍋倉山14-1-5103 (宗方)
TEL/FAX 0774-28-1507 (自)

【阪神支部】

支部長 福田 徹士 (昭33高)
「事務局」 〒666-0143
川西市清和台西5-2-72 (福田)
TEL/FAX 072-799-3735 (自)

◎定時制の会 会長 植村 英人 (昭27定) 本部・理事

◎通信制の会 会長 岩田 護 (平9高) 本部・理事

双鶴同窓会本部役員

会 長	南 房 夫 (昭32高)	
副 会 長	戸 祭 武 (昭22中)	
	飯 尾 幸 子 (昭17女)	
	大 瀧 隆 信 (昭37高)	
	藤 岡 由 美 (昭40高)	
	内 藤 行 雄 (昭41高)	
	小 西 正 純 (昭45高)	
理 事 長	林 田 光 弘 (昭40高)	
副 理 事 長	斉 藤 友 幸 (昭43高)	
庶 務 理 事	中 西 毅 (昭49高)	野村美由紀 (昭55高)
	松 田 潔 (昭56高)	土師千穂 (昭62高)
	竹 田 友 子 (昭63高)	岡本 健 (平9高)
	高 井 奈 都 (平10高)	
会 計 理 事	西 村 和 夫 (昭48高)	
監 査	藤 田 伊 佐 雄 (昭25高)	
	田 中 俊 樹 (昭36高)	
顧 問	福 井 秀 之	校 長
	塩 尻 徹	全日制副校長
	山 下 博 史	通信制副校長
	竹 村 尚 行 (昭47高)	事 務 長
参 与	金 村 九 二 夫 (昭26高)	第7代会長

双鶴同窓会会計報告

平成24年度一般会計報告書

(平成24年5月1日～平成25年4月30日)

I. 収入の部 ¥4,879,888円

項目	決算額	摘要
前年度繰越金	3,142,976	
入会金	1,228,000	@4,000×307名(全日制274名、通信制33名)
記念誌等売上	13,500	名簿(3冊)売上金
寄付金	425,000	高校34回卒業生より(代表 百田氏) 300,000円 舞女会会計精算に伴う寄付 125,000円
雑収入	70,412	普通預金利息 412円 祝儀 70,000円
合計	4,879,888	

II. 支出の部 ¥1,552,958円

項目	決算額	摘要
事業費	904,748	総会諸費用、各部会補助
会議費	50,000	会報編集会議
支部関係費	148,600	東京・京都支部総会祝儀、旅費
通信交通費	99,270	会議案内用切手等
事務局費	36,840	消耗品費・祝儀
特別会計へ繰入	313,500	寄付金 300,000円 名簿売上 13,500円 を特別会計へ振替
雑支出	0	
合計	1,552,958	

III. 残高の部 ¥3,326,930円(次年度へ繰越)

平成24年度特別会計報告書

(平成24年5月1日～平成25年4月30日)

I. 収入の部 ¥6,761,584円

項目	決算額	摘要
前年度繰越金	6,446,841	34
繰入金	300,000	高校34回卒業生より
	13,500	名簿売上げ収入より
雑収入	1,243	預金利息
合計	6,761,584	

II. 支出の部 ¥ 0円

項目	決算額	摘要
	0	支出なし
合計	0	

III. 残高の部 ¥6,761,584(次年度へ繰越)

以上、報告します。

平成25年6月1日

双鶴同窓会会長 南 房 夫
" 理事長 林 田 光 弘
" 会計 西 村 和 夫

平成24年度 事業報告

平成24年

4月27日(金) 第1回本部役員会 於 双鶴会館

- 平成24年度双鶴同窓会役員について
- 総会に関わる評議員会について
- 平成23年度仮決算報告について
- 会報発行の進捗状況について
- 各部会より

6月4日(月) 第2回本部役員会 於 双鶴会館

- 総会に関わる評議員会について
- 平成23年度決算報告について

6月9日(土) 同窓会報「双鶴」第36号発刊(一般会員向け)

平成24年度理事会・評議員会開催

於 舞鶴グランドホテル

- 理事会 44名
- 評議員会 137名
- 記念講演 舞鶴市長 多々見良三氏
- 懇親会 101名

7月1日(日) 双鶴同窓会京都支部総会開催

南 房夫会長以下4名が出席

於 ホテルグランピア京都

11月3日(土) 双鶴同窓会東京支部総会開催

南 房夫会長以下4名が出席

於 新宿京王プラザホテル

平成25年

1月2日(水) 高校34回卒業30周年記念同窓会

南 房夫同窓会長が出席

於 舞鶴グランドホテル

3月1日(金) 同窓会報「双鶴」第37号発刊(卒業生向け)

会計監査報告

- 監査実施年月日 平成25年5月22日(水)
- 実施場所 京都府立西舞鶴高等学校
- 監査の対象 平成24年度双鶴同窓会会計に係わる会計帳簿、収入・支出証拠書類および保管する預金に関すること

上記のとおり監査を行った結果、帳簿、証拠書類、保管預金ともに正確に処理されており、適正であったことを報告します。

平成25年6月8日

双鶴同窓会長 様

双鶴同窓会
会計監査 藤 田 伊 佐 雄
" 田 中 俊 樹

30周年の乾杯!!

第34回卒業生



平成25年1月2日、昭和57年卒業生の30周年記念同窓会を舞鶴グランドホテルにおいて開催しました。本会には、南房夫同窓会長様や福井秀之校長様、福田徹土阪神支部長様をはじめ、7名の恩師の先生方にご臨席いただき、同窓生177名が集う中、大盛会に終えることができましたことを心よりお礼申し上げます。

当日は、受付から、「久しぶりやなあ」「元気やったか？」などの第一声が飛び交い、ずいぶんと久しぶりに再会した仲間も多かったにもかかわらず、数十年のブランクを埋めるのに多くの時間は必要ありませんでした。二次会では女性陣による歌とフラダンスも披露され、楽しいひと時を過ごす事ができました。やはり、同級生はいいものです。この同窓会を機に、同級生の絆が、あらためて一層深まることを期待してやみません。

終わりに、私たちの仲間がそれぞれの分野・環境のなかで活躍されることを祈念しますとともに、この同窓会の開催にあたり、ご支援いただきました、実行委員、クラス委員をはじめ、西舞鶴高校など関係の皆様にご心より感謝を申し上げます。

第三十四回卒業生
三十周年記念同窓会実行委員長 百田孝男



3組



2組



1組



6組



5組



4組



9組



8組



7組



11組



10組

卒業50周年記念同窓会開催

高14回生

再会を約束して！

来年には全員が古稀を迎える年齢となった昭和三十七年三月卒業、高十四回の私たちは昨年九月十二日、京都タワーホテルで記念同窓会を盛大に開催しました。

全国から集まった同窓生一三八名、舞鶴市を離れての集いには、卒業以来初めての参加という友も一四名あり、懐かしさも一層増した、楽しいひとときをすごしました。

開会に先立ち校歌を斉唱、京都市内ということから舞妓さん二人の踊りでオープニングとなった華やかな会場、小西実行委員長の挨拶は、同窓会に相応しいキョウヨウとキョウウイク？で締め括られ大爆笑です。

今回は、アトラクションを極力省略して、会話を主にしたことから、あつという間の二時間となり、部屋を移しての二次会も話が尽きないこととなりました。

夕日が照らすホテルの玄関で、舞鶴へ帰る貸切バスを見送る友、窓から手を振る友は、互いに、元気でまた会うことを約束して、散会となりました。

平成二十四年九月十二日

高校第十四回生

西高三七会事務局 田中 實



3組



2組



1組



6組



5組



4組



8組



7組

卒業50周年記念同窓会開催

高15回生

平成二十五年四月十三日、舞鶴グランドホテルで西舞鶴高校第十五回（昭和三十八年）卒業生卒業五十周年記念同窓会を百三十四名の参加者を得て開催いたしました。同日の早朝、淡路島を震源とする地震の影響で鉄道ダイヤが乱れ、京都方面からの仲間の参加が心配されましたが、そこは西高魂を発揮、少し遅れはしましたがが無事に開催することが出来ました。そんなハプニングも終わればかえって忘れられない同窓会となりました。

今回の同窓会は、西高を卒業してから五十年の節目でもあり、多くの人々が古希を迎えるということでの記念同窓会であり、それぞれがいろいろな苦労や悲しみや喜びを乗り越え今日に至ったわけで、「オンリーワンの五十年」とのテーマのもとに開催いたしました。堂本実行委員長長の挨拶に始まり、遠く札幌から来てくれた大垣さんの乾杯の発声により、宴が始まりました。各クラス紹介の折には、ステージの横の大型スクリーンに卒業時のクラス写真等を映しだし、五十年の時の長さを実感。カラオケ等余興時間も瞬く間に過ぎてしまいました。まだまだ話が尽きず、それぞれのクラスが二次会にと町に繰り出し、夜更けまで楽しい一時を過ごすことが出来ました。

何かとお世話いただいた実行委員会の皆様ありがとうございました。

高校第十五回生 齋藤裕靖



3組



2組



1組



6組



5組



4組



8組



7組

舞鶴市市制70周年記念式典が開催されました。

去る5月18日、舞鶴市総合文化会館において、舞鶴市市制施行70周年記念式典が盛大に開催されました。

70年のあゆみを映像で振り返り、京都府副知事の来賓祝辞、功績者表彰のほか創設された「まいづる応援団特命大使」が紹介され、舞鶴市長から、出席されたギャル曽根さんへ特命大使委任状が手渡されました。

また、市民からブレイズを公募し、完成した「舞鶴市イメージソング」が、製作されたシカゴプードルのメンバーと西舞鶴高校をはじめ、市内高等教育機関等の合唱により披露されました。



学生の合唱と書道パフォーマンスによる舞鶴イメージソングの初披露

点描 支部部会

(支部だより)

東京支部

東京支部では、昨年11月3日新宿京王プラザホテルに於いて支部総会、懇親会を開催致しました。総会には、母校、本部、京都・阪神支部、東舞鶴高校関係東支部、京都府東京事務所長等多数のご来賓のご臨席を賜り、「新しい出会い、懐かしい出会い」をテーマに総勢100名のご参加を得て盛大に開催することができました。

当支部では、総会の都度、会報誌「いわし雲」を発刊し、会員の方の寄稿やふるさと舞鶴の情報



報や同窓の皆様との近況などを伝えし、皆さんに大変喜んで頂いております。今回第14号では、多々見良三舞鶴市長、砂原由明舞鶴市観光まちづくり室長(現、産業振興部長)より寄稿いただき舞鶴の頑張っている近況をお伝えしました。

今回の総会後の懇親会では、新しい試みで松葉ガニや舞鶴グランドホテル宿泊券、京王プラザホテル食事券をはじめ多数の商品をご用意し「オークション」を行いました。56年卒業の本合君、坂本君、山際(旧姓原田)さんの3名の司会で会場は、大変な熱気で盛り上がりました。また、全員の記念撮影も行いお帰りの際、お土産と一緒にお渡し致しました。常に、新しいことを考え、会員の皆様に喜んで頂けるよう幹事及びサポート頂いている方々のご提案から実現していく体制が整いつつあります。総会に参加して良かったと感じていただける東京支部に今後も活動して参ります。

また、舞鶴市観光商業課、舞鶴観光協会により東京で行われますイベントには、「舞鶴サポーター」として、当支部会員の皆様に案内を差し上げ、ご協力をいただいております。

今後とも、東京支部へのご支援ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

(事務局長 澤田謙二)

阪神支部

今年度は2年に一度の総会開催年です。故郷舞鶴や同窓生との絆を深める場にしたと考えています。概要は次の通りです。

日時 十一月十日(日) 十一時半～十五時

場所 大阪弥生会館
講演 舞鶴市の取り組み
(演題未定)

講師 多々見良三舞鶴市長
今回は発展を続ける舞鶴の将来を市長自ら語って戴き、市長とも懇親が出来ればと思っております。市長は「住んでよし、働いてよし、訪れてよし」という舞鶴市にしようと活躍されています。多くの参加者を期待しています。

今、同窓会が若い人たちに引継がれていく姿が見えています。当支部も若い人たちに魅力ある同窓会にしようとする若い評議員と検討を続けています。形式的な総会を出来るだけ簡素に、服装も例えば、ノーネクタイで、と気楽に参加できるように考えています。又ミニ同期会が当総会会場で生まれ、その後先輩、後輩と同窓の絆を強める場に発展していけばと考えています。その為には年次の評議員の働きが重要です。手弁当で大変ご苦労なのですが、何とかしよ

うという気概がなければ、舞鶴で育てられた恩返しにはなりません。

阪神地区で西舞鶴高校卒業生が活躍している姿を見たい、知りたい、それが双鶴同窓会阪神支部の存在価値と考えています。皆様のご支援をお願いいたします。
(支部長 福田徹士)

京都支部

昨年七月二四日、郷土の大先輩で京都大学第一九代総長の岡本道雄先生が九八歳で逝去されたことは、会員諸氏のご記憶に新しいことと思えます。その後九月一七日、京都大学百周年記念ホールで執り行われた「岡本道雄先生お別れの会」に、双鶴同窓会南房夫会長・大滝隆信副会長・小田彬人京都支部長ともども参列し、先生とお別れして参りました。先生には京都支部だより「洛風」(平成二四年六月号)に「後輩諸氏に与う」という、先生の絶筆と思われる一文をいただいております。

ところで、私が京都支部の事務局をお預かりして二年半になります。その間、同窓会の運営側に立って、年齢を超えた同窓会という「権利能力なき団体」の活動について改めて考えさせられました。参加会員数の減少と財源の確保に苦心してい

るからです。同窓会を支えていくエネルギーは何でしょうか。やはり、同窓会の元氣回復は多くの会員の積極的な同窓会への参加に尽きます。

私の属する昭和二十八年高校第五回卒業の同期会は、会員の加齢に伴う数年前の解散を機に、同窓会に合わせて同期が集まることになりました。昨年は周知不足とはいえ、京都・東京各支部同窓会にそれぞれ十名前後の同期が参集し、同窓会と同期会を併せ堪能したのでした。この経験から会員諸氏は、各学年において同窓会を同期会の場としても活用し、同窓会参加増につないでいくのがよいと考えております。

京都支部では、昨年の規約改正に伴い、北陸・東海各三県計六県にも次回の総会・懇親会案内の準備をしています。

平成二十六年京都支部総会・懇親会を、次のように開催いたします。

日時 平成二十六年七月十三日(日) 一三時三〇分～一四時三〇分
会場 ホテルグランヴィア京都「竹取の間」(JR京都駅構内)
(事務局長 宗方嘉浩)



★ 定時制の会

今回も定時制同窓会行事等の動
きはありませんでした。

今年中には、第六回総会を開催
する予定ですが、諸般の事
情で成り行きに任せます。

今年も気象に異常があり気温の
差が激しく櫻も「アット」言う間
に消えてしまいました。

アジアでは尖閣諸島や竹島の問
題に加えアメリカではボストンマ
ラソングループでの爆破テロ事件
が発生したり、近くでは地震や津
波や土砂崩落や原発30km圏内等。
何時・何処で何が起きるか樂觀で
きなく、舞鶴には海上自衛隊や海
上保安本部の基地もあるので、お
互いに対策・措置を考えておかな
ければならない時代がやって来ま
した。

(定時制の会 植村英人)

★ 通信制の会

新しい年度を迎えて、通信制で
は二十四名の生徒が、高校卒業の
資格取得を目指して、入学されま
した。自学自習という厳しい学習
形態の中で仕事や家庭との両立を
図りながら、卒業に向けてしっか
り学習していただきたいと思いま
す。多くの同窓生が応援していま
す。頑張ってください。

三月一日の卒業式には、二十八

名の生徒が喜びとともに、新たな
旅立ちの時を迎えられました。全
体の卒業式の後、改めて通信制の
教室で校長先生から卒業証書及び
表彰状が授与されました。

双鶴同窓会通信制の会では、二
年に一度同窓会を開催していま
す。昨年八月二十六日に舞鶴グラ
ンドホテルにて、同窓会長様はじ
め校長先生・副校長先生・恩師の
先生方の御出席を賜り同窓会(総
会・懇親会)を行いました。会場
では、事業報告や会計報告、会則
の改正など議案が承認され、総会
後の懇親会では、懐かしい先生方
や同窓生の方々と、楽しく語り合
え、とても有意義な一日を過ごす
ことができたと思います。

秋に開催された通信制の文化祭
「彩雪祭」には、同窓生の参加や
作品展示が、近年少なくなってい
ています。

来年は同窓会が開催されます。
今後共、双鶴同窓会通信制の会の
活動にご支援、ご協力を賜ります
ようよろしくお願い申し上げます。

(通信制の会 岩田護)



ホームページをご利用ください

ホームページ運営委員長 内藤 行雄

同窓会員の皆様には、い
つもホームページをご覧い
ただき、ありがとうございます
ます。

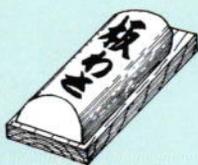
運営委員会では、ホーム
ページ開設以来、皆様から
寄せていただいたご意見を
参考に、より見やすく、よ
り利用しやすいを第一に考
え、地域の情報もリンクを
組んで、リニューアルしま
した。おかげさまで、アク
セス数も二万七千を越え、
大変喜んでおります。

利用の方法も、周年行事
や同級会の案内と報告、ま
た、同級生の活躍情報から
地域の行事の紹介など、
様々な形でご利用いただい
ております。一人でも多く
の皆様へ、気軽にご利用、
投稿していただくことで、
同窓会の絆が更に深まるこ
とを願っております。

東京神田にある全国うまい
もの交流サロン「なみへい」
において、本年3月の1カ月
間舞鶴の食材を利用したレス
トランを開設、また5月末ま
での3カ月間アンテナショッ
プを開設しました。舞鶴かま
ぼこはもちろん、ちくわ、て
んぷらなどの地元練り製品や
佐波賀だいをんを使つた舞鶴
おでん、鯖のへしこ等、舞鶴
ならではの旬の食材を楽しん
むコース料理として、六〇〇
食を越える食数が提供されま
した。

東京神田で期間限定 アンテナショップ& レストラン開設

「舞鶴」ブランドの新たな
発信方法として活用され、多
くの舞鶴出身者、ゆかりのあ
る方々にご利用いただくこと
もに、舞鶴出身者の方々のふ
るさと舞鶴を愛し、懐かしむ
心の繋がりを感ずる事業であ
り、ご協力をいただいた舞鶴
を愛する多
くの皆様に
心から感謝
申しあげま
す。



(お問い合わせは、舞鶴市観
光商業課。

☎077-3166-1011(四)

頑張ってます部活動

- *第64回両丹総体＝ 男子3位 女子2位
- *サッカー＝ 京都高校サッカー選手権大会
男子 2回戦進出
- *テニス＝ インターハイ京都府2次予選
男子シングルス 有吉 2回戦進出
水口 2回戦進出
男子ダブルス 有吉・水口 2回戦進出
近畿高等学校テニス大会京都府予選
女子シングルス 小林 代表決定戦進出



- *ソフトテニス＝ 近畿高校ソフトテニス選手権大会
男子 個人 藤田・井川 2回戦進出
全国高校総体ソフトテニス競技大会
男子 団体 2回戦進出
京都府高等学校ソフトテニスインドア大会
男子 個人 井上・波多野 4回戦進出
近畿高等学校ソフトテニス選手権大会
女子 団体 Dゾーン 準優勝
京都高校ソフトテニス選抜大会
女子 団体 ベスト8
女子 個人 左織・熊野 4回戦進出
個人 辻・猪野 4回戦進出
- *バスケットボール＝ 京都府高校バスケットボール選手権大会
男子 準々決勝進出
- *バレーボール＝ 全国日本バレーボール高等学校選手権大会
京都府予選会
女子 ベスト8
- *硬式野球＝ 全国高等学校野球選手権京都大会
男子 3回戦進出
- *バドミントン＝ インターハイ京都府大会 学校対抗
男子 団体 ベスト4
女子 団体 ベスト4
インターハイ京都府大会 個人戦
男子 シングルス 唐澤 ベスト4
小谷 ベスト8

- ダブルス 唐澤・小谷 決勝リーグ進出
- 女子 シングルス 高本・川井 5回戦進出
- ダブルス 高本・川本 6回戦進出
- 常塚・上田 5回戦進出
- 近畿高等学校バドミントン選手権大会
男子 シングルス 小谷 2回戦進出
- 女子 シングルス 川井 出場
- ダブルス 高本・川井 ベスト32

- *剣道＝ インターハイ京都府大会
女子 団体 3回戦進出
個人 竹内 2回戦進出
京都高等学校剣道選手権大会
女子 個人 竹内・柴田 2回戦進出
- *体操＝ 近畿高等学校体操競技選手権
女子 個人 大戸優妃奈 出場
谷口麻莉奈 出場
京都府民総合体育大会
女子 個人 大戸優妃奈 出場
谷口麻莉奈 出場
京都府体操競技・新体操新人選手権大会
女子 個人 大戸優妃奈 総合6位
大29回全国高等学校体操競技選抜大会
女子 個人 大戸優妃奈 出場
- *柔道＝ 第35回京都府公立学校柔道大会
男子 団体 ベスト4
- *水泳＝ 近畿高等学校選手権水泳競技大会
女子 400mメドレー 森 若菜 出場
200m個人メドレー 森 若菜 出場
100m背泳ぎ 山本実奈 出場
200m背泳ぎ 山本実奈 出場
京都府国公立高等学校水泳競技大会
女子 200m個人メドレー 森 若菜 1位
100m背泳ぎ 森 若菜 3位
100m平泳ぎ 森 若菜 2位
100m背泳ぎ 山本実奈 1位
100m自由形 山本実奈 1位
100mバタフライ 山本実奈 2位
100m平泳ぎ 中西志織 6位



卒業生の進路状況

同窓会員の皆様には、平素より生徒の進路状況にお心配りをいただき、ありがとうございます。平成24年度は274名が卒業いたしました。就職では14名が学校紹介で民間企業に就職し、内定率は10%でした。求人件数は前年度比89%の約193件でしたが、地元を中心に53件の指定求人を取り、厳しい雇用環境の中、地元企業からの支援を頂いていることには、本当に感謝いたします。

また、公務員には、舞鶴市役所、京都府警察などに9名が合格しました。本校では2年生後半より公務員・就職それぞれの方針講座を実施しています。ハローワークや専門学校から講師をお招きしてお話を伺う機会も設け、他の生徒よりも一足先に社会人になるのだという覚悟が持てるように指導しています。就職者の割合は多くありませんが、今後も会員の皆様のお力添えをいただきます。



母校Report

進学については、国公立大学は、北は北海道大学から、南は琉球、鹿児島大学まで、54名が合格し50名が進学しました。そのうち神戸大学へは4名、金沢大学2名、京都府立大学5名が合格しました。近年、国立大学の推薦入試にチャレンジする生徒が増加していますが、合格者11名のうち10名は体育系クラブや吹奏楽部のように毎日活動する部活動に所属した生徒であり、文武両道を貫くことが可能であることを証明し

てくれました。また、私立大学では、関関同立に比べ38名が合格したのを含め関西圏を中心に延べ221名が合格し、91名が進学しました。また、高等看護学校へは14名、専門学校へは46名、ポリテクカレッジは1名が進学しました。

大学全入時代といわれて久しいですが、大学間で格差が生まれ、難関大学への進学は厳しいのが現状です。このような状況の中で、生徒が安易な方向へ流れることなく、第一志望校の合格へ向けてひたむきな努力が続けられるよう指導していきたく考えています。

また近年は、大学が就職のための予備校になりつつあるのではないかと批判も耳にします。卒業生には、学問を追究しつつも、自信を持って就職活動が行えるようなバランス感覚を身につけていくことを期待しています。

そのために、人生の土台を形作る高校時代においては、学力をつけるのと同時に「人としっかりとつながる力」を育成する指導が大切だと考えています。

今後とも後輩たちに温かい御支援をいただきますようお願いいたします。

進学 229名

	男	女	計
大 学	77	64	141
短 大	4	24	28
専 門	17	43	60

就職 23名

	舞鶴市	府内	府外	公務員	計
男	3	1	0	6	10
女	7	2	1	3	13

進路指導部長 内田雅士

舞鶴市からのお知らせ

ふるさと納税。あなたの思いが舞鶴をかえる。皆様からの温かいご寄付をおまちしています。

舞鶴市では、「ふるさと納税制度」を活用し、市外在住の本市出身の方や本市にゆかりのある方に対し、寄附を通じて「舞鶴の歴史と文化を活かした個性豊かなまちづくり」に参加いただけるよう取り組んでいます。

「ふるさと納税とは？」

「ふるさと納税」制度とは、地方公共団体に対して、年間二、〇〇〇円を超える寄附をした場合、所得税と個人住民税の寄附金控除が行われます。

「法人の皆様へ」法人の皆さまからのご寄附も受け付けております。

※法人が行った寄附は「ふるさと納税」制度に基づく個人への税控除の対象外ですが、法人税法上、地方自治体に対する寄附金は、損金の額に算入できます。

①寄附金の使途について

舞鶴らしい皆様に共感していただけるまちづくりをテーマとしています。

「舞鶴の歴史と文化を活かした個性豊かなまちづくり」

- 赤れんがパーク整備事業
- 城下町の歴史を活かしたまちづくり事業

3 海外引揚の歴史を語り継ぎ平和を発信する事業

具体的に寄附金を充当する事業については、上記1～3の事業の中から市で決定し活用させていただきます。

②寄附金の収受状況及び活用状況の公表について

皆さまからいただいた寄附金の収受状況および対象事業への活用状況等については、寄附者の皆様へお知らせするとともに、市の広報紙やホームページなどを通じて公表しています。

③寄附者へのお礼について

(市外在住の方に限らせていただきます)

A 5千円以上の寄附者

市内公共施設の無料入場券(赤れんが博物館、引揚記念館、五老スカイタワー)を贈呈するとともに広報まいつる及び市内イベント等の案内を1年間お送りします。

B 5万円以上の寄附者

舞鶴の地場特産品(万願寺甘とう、舞鶴かまぼこ等)を贈呈します。

④寄附の申し込み方法等については、以下のお問い合わせ先に連絡ください。



お問い合わせ先

舞鶴市 企画管理部 企画室 企画政策課

TEL(0773) 66-1042・FAX (0773) 62-5099

E-mail:plan@post.city.maizuru.kyoto.jp

なお、以下のホームページアドレスからも詳しい内容をご覧いただけます。

http://www.city.maizuru.kyoto.jp/modulis/kikakup/index.php?content.id=840



京都府立西舞鶴高等学校
双鶴同窓会会則

- 第1条 本会は双鶴同窓会という。
- 第2条 本会は本部を西舞鶴高等学校におく。会員多数在住の地には支部を設けることができる。
- 第3条 本会は会員の教養を高め、相互の親睦を図ると共に母校の発展を援助することを目的とする。
- 第4条 本会は次の会員および客員を以て組織する。
 - 1. 会員 (イ) 舞鶴高等女学校、舞鶴第一高等女学校卒業生
(ロ) 舞鶴中学校、舞鶴第一中学校卒業生
(ハ) 西舞鶴高等学校卒業生
(ニ) 以上の学校に在学したものの入会を希望する者
 - 2. 客員 1項に該当する学校の旧職員および現職員
- 第5条 本会の目標達成のため委員会をおくことができる。委員長には副会長の一人を充てる。
- 第6条 委員会および支部の会則は別に之を定める。
- 第7条 本会に下記の役員をおく。
 - 1. 会長 会員の中から総会で選出する。
 - 2. 副会長 理事の中より若干名をこれに充てる。
 - 3. 理事長・副理事長 理事の中より各1名会長が委嘱する。
 - 4. 庶務理事・会計理事 学校より推薦された若干名を会長が委嘱する。
 - 5. 理事 評議員の中より適当数会長が委嘱する。
 - 6. 評議員 各学年において互選により適当数を選出する。
 - 7. 監査 評議員の中から2名選出する。
- 第8条 役員の仕事は次の通りとする。
 - 1. 会長は本会を代表し会務を総理する。
 - 2. 副会長は会長を補佐し、会長事故あるときはこれに代わる。
 - 3. 理事長は会務全般を処理する。副理事長は理事長を補佐し理事長事故あるときはこれに代わる。
 - 4. 庶務理事は庶務を処理し、会計理事は会計を処理する。
 - 5. 理事は理事会において総会附議事項を審議する。
 - 6. 評議員は評議員会で必要事項を審議する。
 - 7. 監査は会計を監査する。
- 第9条 役員の仕事は2ヶ年とする。
- 第10条 本会に顧問若干名、参与若干名を置くことができる。顧問に西舞鶴高等学校長その他適当な学校関係者を会長が委嘱する。参与に元会長を会長が委嘱する。
- 第11条 本会の経費は会費およびその他収入をもってこれに充てる。
- 第12条 本会の入会に際して会費4,000円を納める。
- 第13条 本会は第3条の目的を達成するため次の事業を行う。
 - 1. 会員名簿および会報の発行
 - 2. 会員の慶弔および慰問
 - 3. その他必要な事業
- 第14条 本会は毎年1回総会を開く。総会案内は西高30周年以降の理事、監事、評議員とする。
- 第15条 会員は転居等の変動を遅滞なく本部に報告するものとする。
- 第16条 本会会則の変更は総会の決議による。
 - ①改定：第14条末尾の「部会」は毎年1回これを開く。」を削除する。(平成21年6月13日)
 - ②改定：第5条、第6条、第7条、第14条、第15条を改定する。(平成24年6月9日)

「まいづる」で就職しよう!!

夏の就職フェア

ふるさとコール MAIZURU

日時：平成25年 8月9日(金)
13:00~16:00

場所：舞鶴市商工観光センター 5階

あなたの力が、舞鶴の元気になる

舞鶴市周辺の地元企業約50社が参加予定。

地元でお仕事をお探しの方、みなさんが対象です。
(来春卒業予定の方、既卒の方、中途採用希望の方)

※Uターン相談等、舞鶴での仕事探しに関する相談コーナーも開設

◆お問い合わせ

舞鶴市役所 産業振興・雇用対策課 TEL(0773)66-1021

最新情報は舞鶴市ホームページをチェック!!
<http://www.city.maizuru.kyoto.jp/>



★記念誌・写真など双鶴会館の資料整備に御協力下さい。
★同期会開催のとき校章旗・同窓会報の必要部数をお申し出下さい。

双鶴同窓会のホームページ

<http://www.soukaku.com/>

編集後記

30年ぶりに多数のクラスメートが参集した大同窓会、はや、1年半が経過しました。ずいぶん久しぶりの仲間も多かったにもかかわらず、そのプランクを埋めるのに多くの時間は必要なく、積りも話にあつという間に時間が流れていきました。この同窓会により、改めて、また、新たなつながりができた良い機会ともなりました。

双鶴同窓会報37号の発行に当たりましては、会長様、校長先生をはじめ、諸先輩の皆様からご寄稿いただき、さらに、ご担当の先生方にご協力いただきましたことに厚くお礼申しあげます。

最後に、母校並びに双鶴同窓会のご発展と皆様の御多幸を心よりお祈り申し上げます。編集後記とさせていただきます。

編集委員(昭和五十六年卒業)

森 宏昭 田中 昭 柴田和憲
左織美紀恵 山下美晴